

接続

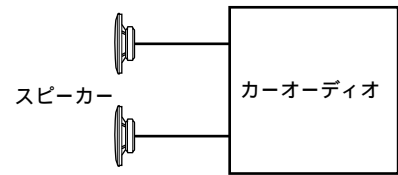
必ず接続先の機器に付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。
別売り品の仕様についてはカタログをご覧ください。

カーアンテナプラグの形状がリレーボックスのジャックに合わない場合は、下記のように接続してください。

日産車の場合
別売りのアンテナ変換コードXA-82またはXA-81が必要です。(車種によりアンテナの端子の形状が異なる場合があります。)

欧州車の場合
別売りのアンテナ変換コードRC-185またはアンテナ変換アダプターRC-49が必要です。(車種については、お買い上げ店にご相談ください。)

アメリカ車の場合
別売りのアンテナ変換コードRC-150GMまたはRC-160GMが必要です。(車種については、お買い上げ店にご相談ください。)



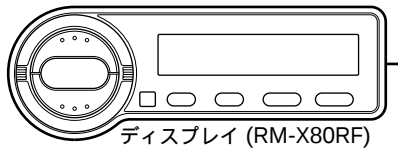
カーオーディオがダイバーシティーアンテナの場合は、下記のように接続してください。

トヨタ車の場合
大きい方のアンテナコネクタと接続してください。

日産車の場合
別売りのアンテナ変換コードXA-82が必要です。(車種によりアンテナの端子の形状が異なる場合があります。)

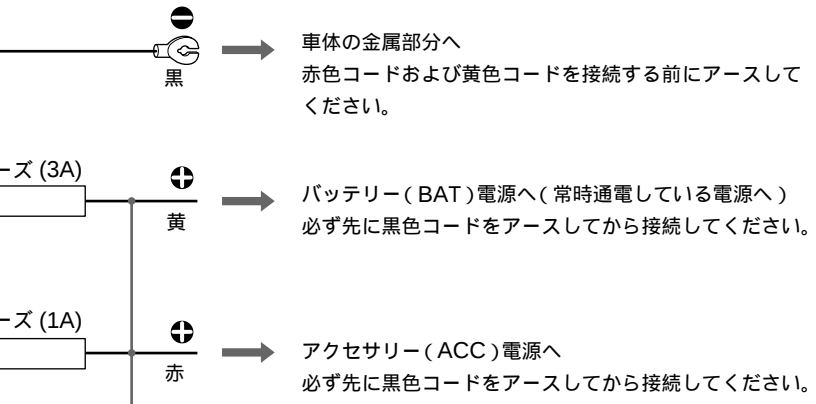
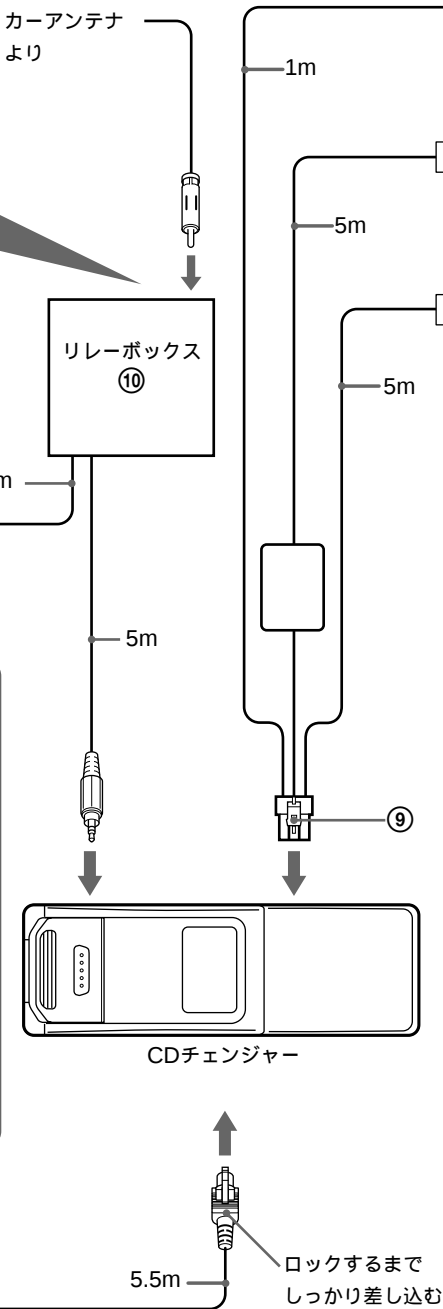
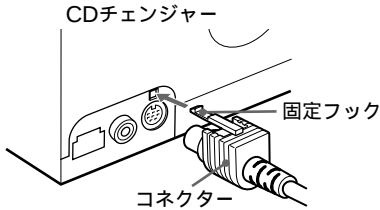
欧州車の場合
別売りのアンテナ変換コードRC-49/RC-50が必要です。(車種については、お買い上げ店にご相談ください。)

アメリカ車の場合
別売りのアンテナ変換コードRC-150GM/RC-160GMが必要です。(車種については、お買い上げ店にご相談ください。)

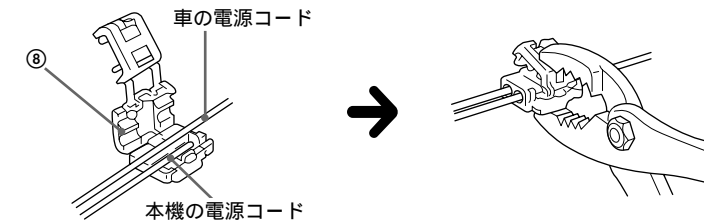


ディスプレイコネクタの接続についてのご注意

図のようにコネクタ固定フックがCDチェンジャーの穴にしっかりとハマるように、コネクタを接続してください。

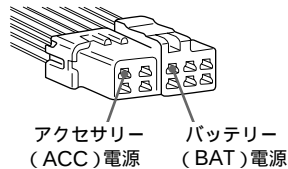


圧着式コネクタの使いかた

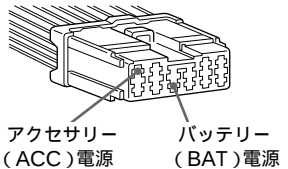


車の電源コードが細い場合、接触が不十分になることがありますのでご注意ください。
下の図を参考にして車の電源コードに接続してください。
下の図は代表例です。これ以外のコネクタの場合は、お買い上げ店にご相談ください。

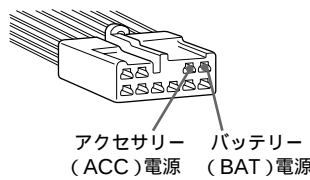
日産車用の10ピンコネクタの例('93.8以前)



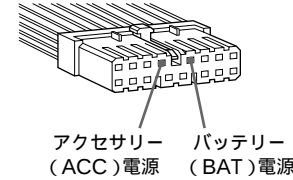
日産車用の10ピンコネクタの例('93.8以降)



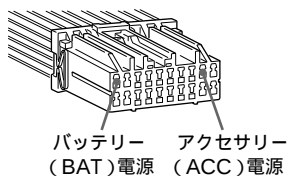
トヨタ車用の10ピンコネクタの例



ホンダ車用の16ピンコネクタの例



ホンダ車用の20ピンコネクタの例



* 対象車種は、アコードセダン、アコードワゴン、トルネオセダン、CR-V、オデッセイ、シビックタイプR、キャバ(Dタイプ)(1998年10月現在)

ショート事故を防ぐために

本機の電源コードの接続は、必ずイグニッションキーをOFFにして、すべての配線をすませてから行ってください。先に電源コードを接続すると、ショートにより感電や製品の破損の原因となります。

電源コードの色分け

赤色コード	アクセサリ(ACC)電源入力コード 車のキーをLOCKかOFFにすると電源供給が切れて、ACCにすると電源が入るところ(ラジオ回路など)に接続します。
黄色コード	バッテリー(BAT)電源入力コード 車のキーに関係なく常時通電しているところで、ヒューズの容量値以上の電源が取れるところに接続します。ディスプレイのOFFボタン、リモコンのOFFボタンを押すか、イグニッションキーをOFFにすると、メモリー保持用の電流だけが流れます。
黒色コード	アース用コード 車体の金属部分に確実にアースしてください。

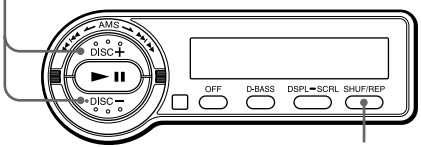
ヒューズ

電源コードの中間にあるヒューズが切れたときは、配線などをチェックして必ず原因を確かめ、適切な処置をしてください。その後、ヒューズケースに記してある規定容量(アンペア数)のヒューズと交換してください。規定容量以上のヒューズや針金で代用することは大変危険です。

送信周波数を設定する

本機ではCDをFMチューナーで聞きます。そのため、本機で設定している(本機からFMチューナーへ送信する)周波数と同じ周波数のFM放送があると、CD再生時に雑音が入ることがあります。その場合は本機の送信周波数を変えてください。初期値は88.3MHzです。

DISC +/-ボタン



SHUF/REPボタン

1

SHUF/REPボタンを周波数が表示されるまで2秒以上押す。

2

DISC +/-ボタンを押して、周波数を選ぶ。
DISC -ボタンを押すたびに周波数は次のように切り換わります。
88.3MHz → 89.9MHz → 89.7MHz → 89.5MHz → 89.3MHz → 89.1MHz →
88.9MHz → 88.7MHz → 88.5MHz

DISC +ボタンを押すと逆順に表示されます。

3

最後にSHUF/REPボタンを2秒以上押す。

リモコンで操作するには
以下のボタンを押して同様の操作ができます。

- 1 SHUFボタンを周波数が表示されるまで 2 秒以上押す。
- 2 DISC +/-ボタンを押して、周波数を選ぶ。
- 3 最後にSHUFボタンを 2 秒以上押す。

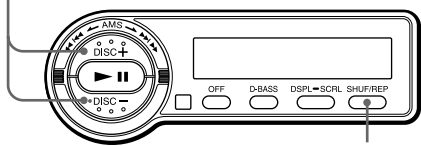
ご注意

- 本機の送信周波数を変えたときは、必ずFMチューナーに登録(プリセット)する周波数も変えてください。
- 停止状態(ディスプレイの表示が消えている状態)からリモコンで本機を作動させることはできません。電源を入れるには、ディスプレイの▶▶ボタンを押してください。

出力レベルを設定する

FMチューナーの入力レベルに合わせて本機の出力レベル(LEVEL 1~5)を設定できます。ふつうは初期値(LEVEL 3)で使いますが、必要に応じて調整してください。

DISC +/-ボタン



SHUF/REPボタン

1

SHUF/REPボタンを2秒以上押す。

2

もう一度SHUF/REPボタンを短く押す。

初期値

LEVEL 3

3

DISC +/-ボタンを繰り返し押して、出力レベルを選ぶ。

DISC -ボタンを押すとレベルが低くなります。

LEVEL 1

DISC +ボタンを押すとレベルが高くなります。

LEVEL 5

4

最後にSHUF/REPボタンを2秒以上押す。

リモコンで操作するには
以下のボタンを押して同様の操作ができます。

- 1 SHUFボタンを 2 秒以上押す。
- 2 もう一度SHUFボタンを短く押す。
- 3 DISC +/- ボタンを繰り返し押して、出力レベルを選ぶ。
- 4 最後にSHUFボタンを 2 秒以上押す。

取り付け

取り付け場所

次のような場所に取り付けないでください。

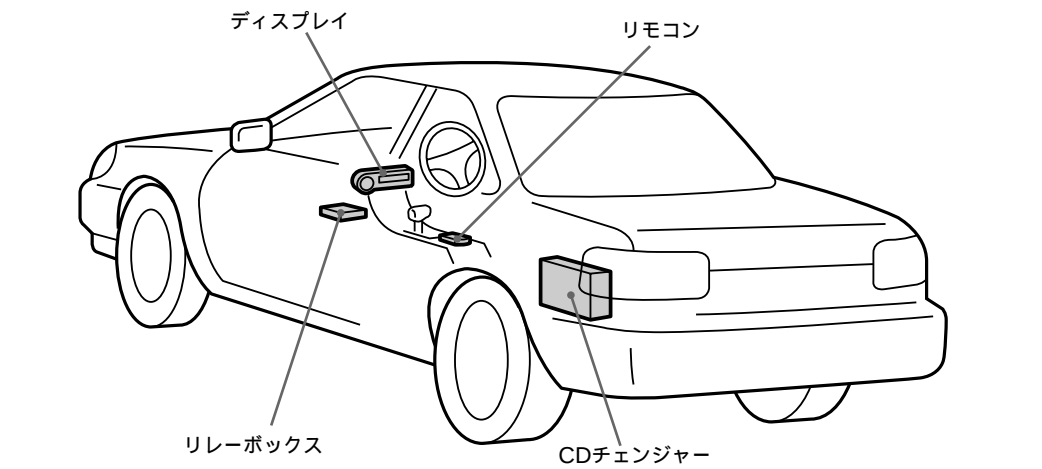
- ディスプレイ、リモコン

 - 運転の妨げになるところ
 - 同乗者の安全を損なうところ
 - グローブボックスのふたの開閉や、灰皿の出し入れの妨げになるところ
- CDチェンジャー、リレーボックス

 - 温度が55℃以上になるところ
 - 直射日光が当たる場所、ヒーターの熱風を直接受ける場所など、温度が極端に高いところ
 - 雨が吹き込むところなど、水がかかるところや湿気の多いところ
- ご注意

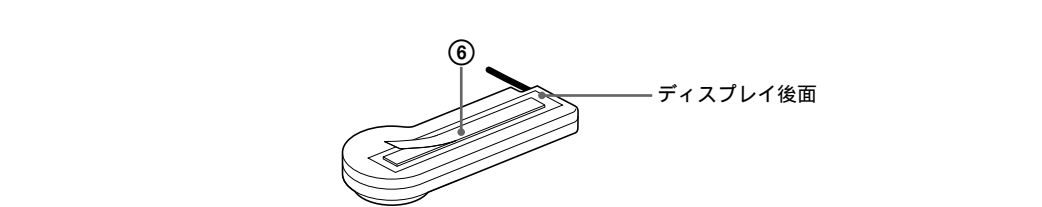
 - ほこりの多いところ
 - しっかりした取り付けのできない振動の多いところ
 - 配線コードやパイプが下を通っているところ
 - トランク内またはトランク下にあるスペアタイヤ、その他の備品などを傷つけるおそれのあるところ
- ご注意

 - トランク内に穴をあけるときは、必ず裏側に何も無いことを確認してください。
 - 必ず、付属のネジ類をお使いください。他のネジを使用すると故障の原因となることがあります。



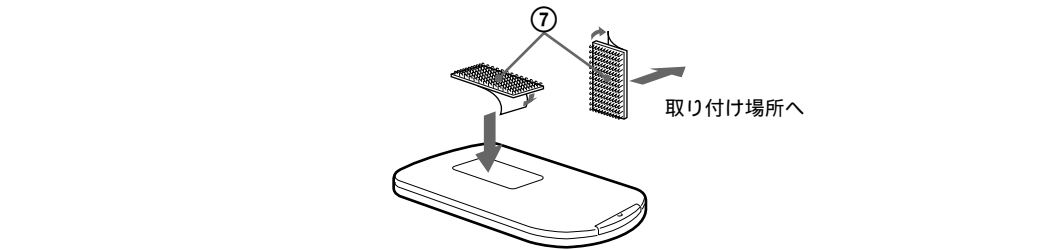
ディスプレイの取り付け

貼り付ける場所をきれいにしたあと、両面テープ⑥を使って運転の妨げにならない見やすい位置に取り付けます。



リモコンの取り付け

貼り付ける場所をきれいにしたあと、マジックテープ⑦を使って運転の妨げにならない位置に取り付けます。

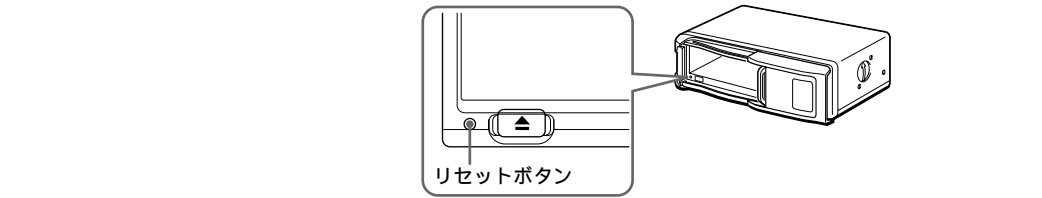


ご注意

取り付け場所を決める前に、その場所からリモコンでシステムが操作できることを確認してください。

取り付けと接続が終わったら

- ブレーキランプやライト、ホーン、ウィンカー、ワイパーなど、すべての電装品が正しく動くことを確かめてください。
- 必ず、CDチェンジャーのリセットボタンをつま楊子の先などで押してください。ただし針のようなもので強く押すと故障の原因になります。



- 故障かな? と思った場合は、接続をもう一度確認するとともに、取扱説明書の「故障かな?」をご覧ください。

CDチェンジャーの取り付け

取り付け板①により、取り付け高さを2段階に選択できます。お好みに合わせてお使いください。

横に置いて取り付ける場合

1

コイン等でダイヤルをHORIZONTALの位置に合わせる。

カーペットの下に

2

3

CDチェンジャーを取り外す

4

5

たてに置いて取り付ける場合

1

コイン等でダイヤルをVERTICALの位置に合わせる。

カーペットの下に

2

3

CDチェンジャーを取り外す

4

5

吊り下げて取り付ける場合

- トランクルームのリアトレイ下等に吊り下げて取り付ける場合、以下の点にご注意ください。
- 本体が水平に取り付けられる場所を選んでください。
 - トランクリッドの開閉時に、本体とトランクリッドのトーションバースプリングが接触しない場所を選んでください。

1

コイン等でダイヤルをHORIZONTALの位置に合わせる。

2

印をつける

リアトレイ

φ3.5mm

ご注意

リアトレイに取り付け穴をあけるときは、トレイの裏側に何も無いことを確認してから、作業を行ってください。

3

傾斜のあるところに取り付ける場合

左右のダイヤルには5段階の目盛りがあります。本体を取り付けたときにダイヤルの矢印が地面に対して垂直に近くなるように合わせてください。

ご注意

左右のダイヤルの矢印は、必ず同じ位置の目盛りに合わせてください。

